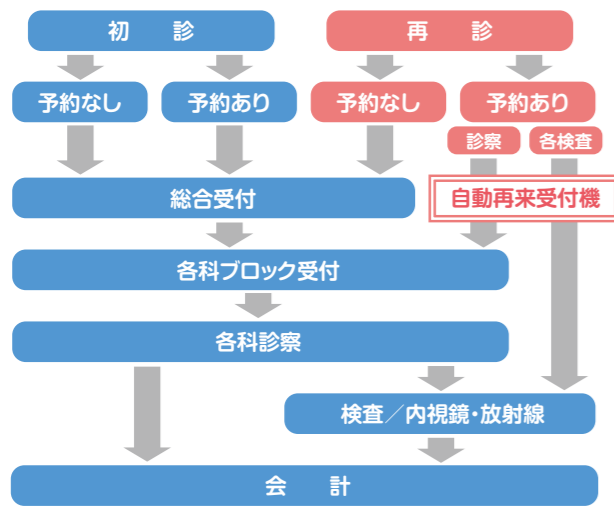


## 外来診療の流れ



### 再診で予約がある患者さんの場合

- ①総合案内横にある自動再来受付機に診察券を入れます。
  - ②受付票が2枚印刷されます。
  - ③受付票をクリアファイルに入れ、受付票のメッセージに従って診察または検査の受付へ移動してください。
- ※エラーの場合は総合受付へ案内されます。

### 予約のない患者さん 診察券を忘れた患者さんの場合

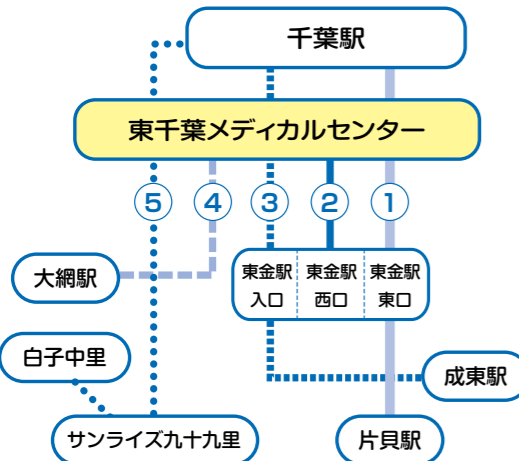
- ①総合受付で受付を行います。
- ②受付票の入ったクリアファイルを受け取り、案内に従って診察または検査の受付へ移動してください。

会計がより  
便利に  
なりました。

### 《自動診療費支払機の導入》

診察や検査が終了しましたら、1階総合受付で会計用の番号発券機を使用し、会計用番号をお受け取りください。会計用番号が表示されましたら、自動支払機でお支払いができます。

### 交通アクセス バスでお越しの場合



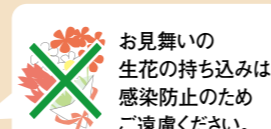
### 東千葉メディカルセンターへの発車時刻(平日のみ)

①片貝駅⇄千葉駅線(九十九里鐵道)	※土日・休祝日の時刻は、HPなどでご確認下さい。
《片貝駅》 8:20 9:25 13:25 15:25	
《東金駅東口》 8:40 9:45 13:45 15:45	
②東金駅⇄季美の森線(九十九里鐵道)	
《東金駅西口》 8:20 9:20 10:40 11:40 13:40	
③成東駅⇄千葉駅線(ちばフラワーバス)	
《成東駅》 8:13 9:08 10:08 11:08 12:08 13:08 14:08 15:08 16:08	
④大網駅⇄季美の森線(小湊鐵道)	
《大網駅》 7:05 7:40 8:10 8:35 9:25 10:00 10:30 11:45 12:40 13:00 13:50 14:50 15:20 15:50 16:10 16:50 17:10 17:35 17:55 18:15 18:30	
⑤白子中里⇄千葉駅線(小湊鐵道)	
《サンライズ九十九里》 6:15 8:15 9:25 11:40 13:15 15:00 16:10 18:10 19:15	

### —お知らせ— 面会時間 について

患者さんの治療と安静のため面会時間を設定しています  
【一般病棟】 平日：15時～20時 土日祝休日：11時から20時  
【救命救急センター】 全日：15時～20時

※感染防止のため、マスクの着用・手指の消毒・短時間での面会をお願いする場合があります。



お見舞いの  
生花の持ち込みは  
感染防止のため  
ご遠慮ください。

### —お知らせ— 保育所 について

敷地内に保育所『おかやまキッズルーム』があります。  
生後9週目から小学校就学前の医師、看護師などの職員の子ども保育を行っています。  
保育目標は「自分で考え行動できる子ども 思いやりのある子ども」です。  
月齢や発達に合わせた保育を心がけています。



## 募集!

### 看護職員 助産師

段階的に病棟をオープンするため、新卒・既卒を問わず一緒に働いてくれる幅広い人材を求めています。  
また、周産期ケアの充実に向けて助産師を募集しています。

※病院の見学会や看護の仕事から離れている方などを対象とした復職支援研修を随時行っています。ぜひご連絡ください。

こちらのQRコードを読み込むとホームページをご覧いただけます。



《問い合わせ》千葉県東金市丘山台三丁目6番地2 東千葉メディカルセンター 看護師確保対策室 電話0475-50-1199(代)

## 開院から3年…着々と医療の充実が図られています。

### 産婦人科

副部長 種元 智洋

あかちゃんに会いたい…  
そんなあなたをお手伝いします



当センターにて平成28年4月から産婦人科診療を開始して、約1年が経とうとしております。

開始当初は存在がまだ知られていないために、産科の患者さんがいない日もありました。病棟の開設は5月のゴールデンウィーク明けというスタートから始まりました。

春に妊娠初期だった方々が、昨年の秋から冬にかけて分娩となり、お産の数も順調に増加してまいりました。おかげさまで昨年(4～12月)の分娩総数は62件、特に12月は22件となりました。

また、婦人科の患者さんも増え、小手術を除いた昨年手術件数は37件となり、産科の帝王切開も合わせると手術の枠がいっぱいになるほどになりました。  
現在、産婦人科の常勤医師は2名ですが、4月からは常勤医師3名を予定しております。病棟の助産師・看護師とともに精一杯努力をして、皆様が安心してお産や手術を受けられるようにしていきたいとおもいます。これからもよろしくお願いいたします。

### 歯科口腔外科

医長 伏見 一章

口腔内の健康を守り  
安全な医療を提供します



昨年4月より歯科医師1名、歯科衛生士3名の体制で診療を開始しました。

病院にある歯科口腔外科として、有病者及び障害者の歯科治療ならびに外科処置や交通事故やスポーツなどの外傷から治療を開始してきました。

最近では近隣の歯科医院・医院からの外科処置や口の中の病気の紹介患者さんが増加傾向にあり、検査を必要とする患者さん、緊急に処置を必要とする患者さん、入院を必要とする全身麻酔手術や抜歯などの外科処置も増加しています。また、入院患者さんの口腔ケアにも力を入れていくとともに、引き続き安全な医療をご提案させていただきたいと思っていますのでよろしくお願いいたします。

なお、4月からは外科や整形外科などで手術を予定している患者さんへの、術前口腔ケアも開始する予定です。

### 4D超音波診断装置



この装置は静止画像である3D超音波画像診断装置と違い、リアルタイムに動いている胎児を映し出せる動画です。そのため、背伸びをしたり、あくびをしている胎児の様子を立体的にご覧になることが可能です。

ご希望の方は週数早めにご相談ください。  
通常の妊婦検診とは別に予約が必要です。

### 母親学級のお知らせ

妊娠、出産、産後の不安を少しでも解消し、健やかな妊娠期を過ごせるよう当センターで分娩予定の方を対象に母親学級を開催しています。

同じような時期に出産される方が集まり、仲間づくりにもなります。

詳しくは妊婦健診時にスタッフにお問い合わせください。

## キレイな歩き方と強い骨を取り戻す ～市民公開講座～

2月12日に九十九里町中央公民館で整形外科中嶋副部長による市民公開講座が開かれました。

当日は102名が参加。膝関節や股関節の痛みと歩き方の関係を分かりやすく解説。転んでも骨折しない骨をつくるにはどうしたらよいかなどをスライドなどを使って講演しました。

また、実際に膝関節や股関節の手術をされた患者さん4人が登壇し、手術前の不安な気持ちや手術後の様子などの体験が披露されました。一様に「もっと早く手術すればよかった」「若返った」「行動範囲が広がった」など生活が前向きになったと話していました。

講演を聞いた方からは、「O脚は歳をとったらみんななるものだと思っていた。痛くなったら検査したほうが良いとわかりました。」とこれからの参考になったと話してくれました。



インタビュー形式で手術の体験を聞く中嶋先生

## 看護の出前授業 「思春期教室」

今年度で2回目となる思春期教室を東金市立東中学校で行いました。

これは、「命の大切さと本当の自分に気づく」をテーマに、思春期の心の変化や体の変化、妊娠のしくみや出産場面などをスライドや手作りの妊婦ジャケッットなどを使って、助産師による出前授業を行ったものです。

先生方からは赤ちゃんの形や妊婦体験を取り入れることで生徒たちも笑顔で参加していたことや性的なことも含まれていたことで心配したが、まじめに話を聞いてくれたなどの声が寄せられました。

生徒からは自分が生まれる確立が70兆分の1と聞いて驚いたことや、赤ちゃんのだっこは首を支えてあげてくれることを初めて知ったなどの声が聞かれ、貴重な体験となったようです。

出前授業をした渡辺助産師は、「命の大切さや思いやりの心を育てる一助になれば」と今後も続けていきたいと意欲的です。



学校の先生と協力して、手作りの教材で妊娠の仕組みについて説明

## 中学生の職場体験が行われました

東金市立北中学校ほか3校の中学生14人が看護師の職場体験を行いました。職場体験に東千葉メディカルセンターを選んで、3日間体験学習をした中学生から感想をいただきましたので、その一部を紹介します。



～看護師と同じ制服で職場体験～  
入院患者の薬の確認の説明を受ける中学生(右側)

## ～体験学習で得たもの～

私は、以前、東千葉メディカルセンターに入院をしたことがあります。その時に、看護師さん大変お世話になりました。初めての入院ですごく緊張していたのに、看護師さんの優しさで緊張がほぐれて安心しました。私は、そういう優しさのある看護師さんになりたいと思って、今回の職業体験で看護師さんの仕事をしてみたいと思いました。

私が、今回の職業体験で印象に残ったことはたくさんあります。まずは、ICU・HCUで体験したことです。ICU・HCUは、重症の患者さんがいたり、高度な医療が見られて貴重な見学をさせていただきました。

もう一つは最終日にやらせてもらった車いす、ストレッチャーの体験です。車いすは、とても難しく、病室に入る時や曲がる時が大変で、車いすを使う患者さんはすごいなと感じました。ストレッチャーでは、運ばれてくる患者さんが怖いと思わないようにするために足のほうを前にするという工夫をしていて、私も体験をしてあまり怖くはないと思いました。

今後は、この職業体験学習で学んだことを将来の進路選択に役立てていきたいと思っています。

東金市立北中学校 2年生

## 糖尿病教室



平成27年6月から始まった糖尿病教室は、具体的でわかりやすかった、参考になったなどの声をいただいております。医師・管理栄養士・理学療法士・薬剤師・臨床検査技師・看護師が、それぞれの立場で季節に応じ、日常生活を踏まえた内容でお話します。なお、3月3日の教室では、スポーツクラブと連携して実際に運動を体験していただきます。

4月からも内容を充実して開催します。どなたでも参加できます。

とき▶毎月第1金曜日 午後2時(5月・11月は第2金曜日) ところ▶東千葉メディカルセンター 2階講堂

## 医療機器の共同利用をすすめています

当センターでは各医療機関の先生方に、最新の医療機器を有効に活用していただき、日々の診療にお役に立てればと医療機器の共同利用をすすめています。利用できる医療機器は次のとおりです。

### CT



320列の検出器を持つ機器を使用し、わずか一回転で広範囲の撮影を短時間で行うことができます。

### MRI



あらゆる方向からの撮影が可能です。磁気と電波を使用するため被爆がなく、造影剤を用いずに血管を描出することが可能です。

### 骨密度(骨塩定量)測定



2種類の異なるエネルギーを持つX線を用いて、骨量を測定します。ほとんど全身の骨を測ることができます。

### 利用方法

#### 《医療機関の先生方へ》

- 1.医療機関よりFAXを送付  
FAX番号 0475-50-1334
  - 2.医療機関より電話で予約  
電話番号 0475-50-1336
  - 3.患者さんに「申込書・紹介状」と「案内」を渡す
- 「CT・MRI検査申込書・紹介状」または「骨密度測定検査申込書」に必要事項を記入し、希望される検査日時をお伝えいただき予約してください。
- 「CT・MRI検査申込書・紹介状」または「骨密度測定検査申込書」に予約日時を記入して、患者さんに渡してください。また、予約した検査の「患者さん用ご案内」も一緒に渡してください。

#### 《患者さんへ》

予約された日時に、医療機関から渡された「検査申込書・紹介状」と「ご案内」および保険証を持参してください。



※「CT・MRI検査申込書・紹介状」または「骨密度測定検査申込書・紹介状」「患者さん用ご案内」はホームページからダウンロードできます。ダウンロードできない場合は、地域医療連携室(0475-50-1336)にご連絡ください。

## 地域の医療機関との連携

当センターは、より適切な治療を受けていただくために、地域の医療機関からご紹介いただいた患者さんに、安心して受診していただくとともに、当院での急性期治療が終了し、症状が安定した患者さんには、地域の医療機関の先生方のもとで治療を継続して受けていただけるように、「逆紹介」を推進しています。

この実践のために、当センターでは医療ソーシャルワーカーと看護師が、院内の多職種や地域の関係機関と連携をしながら、医療や福祉に関する相談を受けています。

《お問い合わせ》地域医療連携室 0475-50-1199(代)  
平日の午前8時30分～午後5時15分



## 産業まつりで栄養相談

昨年11月に行われた東金市と九十九里町の産業まつりの一画をお借りして、管理栄養士による栄養相談を行いました。



九十九里町では、お菓子やジュースなどに含まれている砂糖の量やカロリーについて、東金市では食品に含まれる食塩の量を手製のポスターを使って掲示しました。どちらの会場も、小学生から最年長の方は93歳と幅広い年代の方それぞれ100名ほどの参加がありました。

アイスクリーム1個でバナナ5本分のカロリーがあることやラーメンの塩分量が1日の摂取量の2倍あることなどを、仕掛けを使って説明。参加した方からは、「これからは気を付けよう」などの声が聞かれ、楽しく学ぶことができたこと好評でした。